



30th
Anniversary

／ 芸術の秋、アートに触れてみませんか？ ／

特集

うしく現代美術展 30周年

今年で30周年を迎える「うしく現代美術展」。「30年目の躍動」をテーマに、記念企画が盛りだくさんです！いつもと一味違う、うしく現代美術展の今年の見どころをご紹介します。

問 うしく現代美術展実行委員会事務局(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

市民に親しまれて30年、うしく現代美術展のストーリー。うしく現代美術展は、県南地区で活動している作家を中心に、市と市民の三位一体となって作り上げられる地域に根差した美術展です。

その始まりは平成7(1995)年。当時、市内在住で全国的に活躍している作家が多くいたにもかかわらず、牛久市には美術館や独自の展覧会などがなく、市民が芸術に触れる機会がありませんでした。そこで、市内の優れた作家の作品を市民の皆さんにぜひ見てもらいたい、本格的な美術展を開催したいという市と作家の意向により、美術展が企画され、市民の皆さんの協力を得て開催された「第1回牛久市現代美術展」では47人の作家が出品。身近な場所でも本格的な芸術作品に触れられると、たくさんの方が訪れました。



第9回の彫刻体験の様子

翌年からは名称を「うしく現代美術展」と変え、作家による作品展示のほか、ワークショップや姉妹都市の子どもの作品展示、彫刻体験や移動美術展など、さまざまな企画を実施。これまで延べ11万人以上が来場する毎年恒例の美術展として親しまれ、30周年を迎えました。今後も皆さんとともに芸術文化を育み、うしく現代美術展を次の世代へつなげていきます。

第1回展の様子

うしく現代美術展、どう楽しむ？ 委員長が語る、同展ならではの魅力や楽しみ方のポイント

Point 4

現代アートを堪能できる

「現代アート」と聞くと難しいと感じてしまう方も多いと思いますが、同展においての現代アートとは、「今現代を生きる人々が思い思いに描いた芸術」という意味を持っています。作品を見て、どのように感じ取ってもどんなストーリーを思い浮かべるのも自由。難しく考え込まず、気軽に足を運んでみてください。

Point 3

作家とふれあえる

会期中、会場には日替わりで作家が数人在廊しています。展示作品を見るだけでなく、作家に直接見どころや作品に込めた思いなどを聞くことができます。作家とふれあえる機会があるのは同展の魅力の一つです。



Point 1

美術館に飾るような大きな絵画が多数展示

うしく現代美術展では美術展で飾られているような大きい規格の作品も多く展示されます。大画面に描かれた作品の世界観は迫力もあり、圧巻です。大きな作品を見られるのも当美術展の醍醐味のひとつです。



Point 2

魅力的な作家陣

県南地区を中心に活動している若手からベテランまで、数々の賞を受賞した作家も多数出品しています。作家の感情や思考、メッセージなどが詰まったクオリティの高い作品をどなたでも見ることができます！

Point 5

今回だけの特別企画

例年通り個性光る作品をたくさん見られるのはもちろん、今回は30周年特別企画として牛久シャトーとのコラボレーションや市内中学・義務教育学校の生徒たちの作品展示など見どころ盛りだくさんです。

Message

第1回展から今年で30年、私たち作家だけではここまで続けることは不可能でした。市民の皆さまの協力、そしてたくさんの方々が来場してくださったからこそ30年目を迎えることができました。今年もたくさん魅力的な作品やイベントを用意しています。ぜひご来場ください！



うしく現代美術展
実行委員会
大山九八委員長

本展

11.16日～11.30日 午前10時～午後4時30分

中央生涯学習センター(多目的ホール・展示ホール・中庭等屋外)
※25日(火)は休館日。※「芸術のタベ」「ナイトミュージアム」実施日は午後7時まで、最終日は午後2時まで。※入館は終了時間の30分前まで。
「30年目の躍動」をテーマに、55人の作家が平面、立体作品を展示発表します。作品との対話をお楽しみください。



ここに注目！
55人の作家による個性豊かな作品が大集合！

森の小さな傑作展

11.16日～11.30日 午前10時～午後4時

牛久シャトー(オエノンミュージアム、牛久シャトー敷地内ほか)
※最終日は午後2時まで。※入館は終了時間の30分前まで。
日本遺産・牛久シャトーをサテライト会場として、ミュージアムや野外に本展出品作家による小作品や筑波大生による作品を展示します。



特別企画
牛久シャトー
コラボ

ここに注目！
歴史的建造物と美術作品がお互いの魅力を引き立て合います！

芸術のタベ

中央生涯学習センター(多目的ホール)

11.22日 午後4時30分～6時

★牛久市中学生混声合唱団
★うしく音楽家協会

11.23日 午後5時～6時

★うしく音楽家協会

作品展示会場での演奏会を実施します♪

ここに注目！
音楽と美術を同時に鑑賞できます

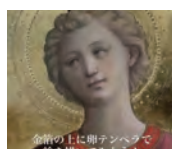


ワークショップ

11.16日 午後1時～4時

中央生涯学習センター(美術工芸室)

テーマ「金箔の上に卵テンペラで絵を描いてみよう」※要予約(先着15人程度)



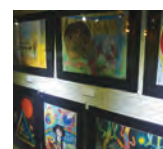
未来の巨匠展

11.16日～11.30日

午前10時～午後4時30分

中央生涯学習センター(文化ホール協通路)

市内の中学校・義務教育学校の生徒による選抜美術作品展。未来の巨匠たちによる作品をぜひお楽しみください。



ナイトミュージアム

11.21日、11.28日 午後7時まで延長 ※入館は午後6時30分まで。

中央生涯学習センター(多目的ホール・展示ホール・中庭等屋外)

金曜の夜は閉館時間を午後7時まで延長。館内での作品鑑賞やイルミネーションをお楽しみいただけます。仕事帰りにぜひお立ち寄りください。



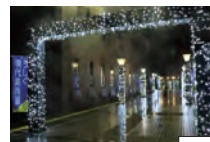
ここに注目！
混雑を避けて作品と静かに向き合えます

光の饗宴

11.15日～11.30日 午後3時30分～5時30分

中央生涯学習センター(敷地内建物前)

中央生涯学習センター館外敷地にイルミネーションを施します。闇をやさしく染める光に包まれるひとときをご堪能ください。

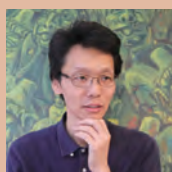


ここに注目！
慌ただしい日常から解放された別世界を楽しめます

詳しくはうしく現代美術展HP▶



個性光る！うしく現代美術展の注目若手作家



いのうえ たく
井上 琢さん

油絵画家。つくば市出身。2015年からうしく現代美術展に参加。

が自由に感じ、考え、物語を作っているものだと思います。なので、私の絵を見るときは好きなようにストーリーを思い描いて楽しんでもらいたいです。



もろぐち むつす
莫根 美穂さん

日本画家。宮崎県出身。現在はつくば市を中心に活動中。

絵との出会いは幼少期、母が自宅で絵を描いていたことです。両親ともやりたいことを自由にやらせてくれたこともあり、「おもしろそうなこと」は何でも挑戦する子でした。絵もそのひとつ。高校時代は油絵に没頭。今、主に描いている日本画は大学で専攻したことが始まりです。何回も線を描く日本画は、工程が多い分、気持ちが込められ、愛情が湧いてきます。また大学時代は今に繋がる恩師との出会いがあり、「とにかく描き続けなさい」という言葉をもらいました。それは、人の心情や感性はそのときどきで違う、そのときにしか描けないものがある、ということ。心は絵に繋がる。その言葉は大切にこれからも「自分の表現」をしていきたい、と思っています。

